



FACE

1&2. 2011年の操業開始から順調に業容を拡大し、今年3月東証マザーズに上場。更なるシェア拡大を目指す
 3. 上場記念祝賀会で。関係者を前に、決意を新たにす
 4. 同社の主力工場、増強を進めている「三本木工場」(宮城県大崎市)
 5. 半導体工場で使われた「ウエーハ」が、同社の技術で新品同様の品質に再生加工される



方永義

RSテクノロジーズ社長

最先端の技術で 業界をリードする 再生ウエーハの トップカンパニー

デバイスメーカーが製造工程のチェックに使用するモニターウエーハ。通常は廃棄されるこのウエーハを預かり、新品同様に再生するシリコンウエーハ再生事業で世界トップシェアを誇るのがRSテクノロジーズだ。学生時代に中国から来日し、リサイクル商社の起業を経て同社を設立した方永義社長は、

「この分野のパイオニアであるラサ工業がリーマンショック

ほう・ながよし — 1970年生まれ。中国・福建省出身。城西国際大学大学院修了。1999年永輝商事設立。2006年同社社長就任。10年RSテクノロジーズ設立、社長就任。14年7月日本に帰化。

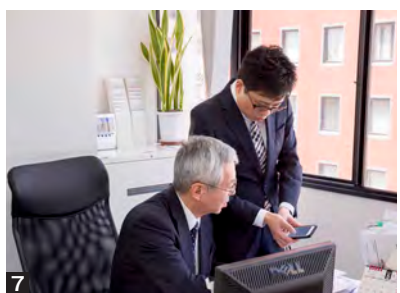


6. エネルギッシュな方社長を囲んだ会議では、積極的な発言が飛び交い熱が入る
 7. 海外メーカーとの取り引きが売上げの約7割を占める。常に現地の情報を交換しながらスピーディーな対応を心がけている
 8. トップセールスをモットーに、1カ月の半分近くは海外出張が続く。日本滞在時は溜まった事務作業を急ピッチでこなす

FACE



9. 多忙の身でありながら、家族とのふれあいを大切にしている。昨年初冬には八丈島へ家族旅行。右は長女の誕生日会での1コマ



「今や流通するウエーハの約5分の1が再生ウエーハです。独自の技術で『新品のウエーハよりもきれいな評価をいただいている当社の高品質な再生ウエーハで環境にも貢献していきたいですね』



取り組む。

「国内で52億円、台湾で25億円の投資で生産能力を拡大します。これにより、300ミリは月産28万枚となりますが、本投資には次世代ウエーハ450ミリも入っており、世界初の量産1万枚が可能になります」(方社長)

さらに、今後はより幅広い分野でのビジネスを展開する。

「このウエーハ再生に限らず、メードインジャパンの技術力はまだまだ世界的に見て突出しています。そんな技術を持つ企業とパートナーシップを組み、優れた技術を海外に展開する架け橋になりたいですね」という方社長。夢は大きく、「ウエーハの再生という業界の枠を越え、新たなビジネスでも世界ナンバーワンの会社を創りたい」と熱く抱負を語った。

の影響で撤退するというところで、事業そのものを承継しました。同社の有する高い技術力に、リサイクル商社でのビジネスで構築した中国、東南アジアへのネットワークを加えれば、必ず成功すると考えたのです」

と語る。その言葉通り、卓越した技術力にさらに磨きをかけ、世界一という銅の洗浄能力や優れた剥離技術をベースにした再生回数など、同業他社に対する大きなアドバンテージを武器に着々と販路を拡大している。

さまざまな分野で、世界中のデバイスメーカーと取引する同社のビジネスは、一般的なシリコンサイクルの浮き沈みとはリンクしない。新品ウエーハの価格に比べ約4分の1と、大きなコストダウンにつながる再生ウエーハのさらなる需要拡大を見据え、積極的な設備投資にも